

日 時 平成 18 年 1 月 26 日 (木) 13:30~17:15

場 所 西宮市大学交流センター

出席者 (委員) 松本(誠)、池淵、奥西、川谷、畑、村岡、長峯、岡田、加藤、
佐々木、中川、浅見、伊藤、草薙、酒井、土谷、山仲
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(河川整備課) 糟谷
(事務局) 黒田、前田

内 容(協議結果)

1 河川整備計画の検討

河川管理者から「河川整備計画の目標流量設定の考え方と必要要件」及び「下流区間の河川整備計画における河川対策(河川改修、貯留施設)の比較検討ケース」について説明があり、以下の件について確認を行った。

河川対策の対象流量は、河川管理者から説明のあった甲武橋地点 2, 900 m³/s 及び 3, 300 m³/s の 2 つの流量を仮設定し、河川対策(河道改修、貯留施設)の比較検討を行う。まずは、流下能力狭窄地点の対策を含めた河道改修の具体的な検討から行う。

流域対策については、別途並行協議し、まとまれば比較検討の中に組み込む。

2 土砂管理対策

土砂管理対策における以下の項目については、(1)河道対策の検討、(2)流域対策の検討又は環境WGの中で合わせて検討する。

(1) 河道対策の検討

土砂の流出と堆積の状況把握と問題点

河道から見た治水対策上の問題点

土砂堆積等が与える生物環境等の問題点

川の健全性を保つための土砂対策について、関係者へのヒアリング

(2) 流域対策の検討又は環境WG

流域内の砂防ダムの状況

森林保全がもたらす土砂流出抑制についての役割やその対策

3 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

次回以降のWTでは、流域対策の数値化について以下の手順で検討する。

学校、公園におけるオンサイト貯留の効果量を踏まえた数値化の検討

遊水地の 3 つの区分(結果として湛水地域、公共施設・都市施設、河川施設)について、それぞれの運用等の可能性及び数値化の検討

流域対策の未検討部分(開発地、棟間貯留、駐車場等)の今後の取り扱い
利水ダムの活用の検討

ため池、水田の数値化の検討

(2) 今後の日程(開催日時)

第 21 回 2 月 1 日(水) 13:30~

第 22 回 2 月 8 日(水) 13:30~

第 23 回 2 月 15 日(水) 13:30~

第 24 回 2 月 20 日(月) 13:30~